

# イノベーション創発

新たな価値観が地域を救う

## 崇城大学教授 星合隆成

連載の最終回は、「地域に  
おけるイノベーション創発」  
のため、われわれが九州内  
外でどのような活動をしてい  
るかにについて触れたいと思  
います。

まず、昨年1月に設立した  
「SCBラボ」です。現  
在、ソフトバ  
ンク、マイナ  
ビ、J-CO  
M九州、熊本



イノベーション人材育成に向け、昨年12月に熊本県、熊本市など6者が連携協定を結んだ締結式。左から2番目が星合隆成氏—熊本県庁

県、熊本市、道の駅阿蘇、コ  
ワーキングスペースを運営す  
るThe Companyな  
ど50の企業・団体が加盟して  
います。このラボは、本連載  
で触れてきた「地域を救うた  
めに必要な発想やアプロ  
チ」—「地域コミュニティ  
ランド（SCB）理論」の普  
及、そして、SCB理論を用  
いたイノベーションの推進を  
目的としています。

設立から1年数か月が経過  
し、今年4月には「地域でイ  
ノベーションを創発できる人  
材」の育成を目的に、SCB  
イノベーションアカデミー熊  
本校、福岡校、道の駅校（熊  
本県阿蘇市・八代市）を同時  
開校しました。来年春には群  
馬校も開設予定です。

このアカデミーの特長は、  
SCB理論を柱に、独自のイ  
ノベーション教材を開発して  
いることです。たとえば、高  
校生向けのイノベーション教  
材をマイナビと共同開発し、

## ⑧ SCBラボの取り組み

# 理論普及へアカデミー開設

全国の高校向けにリリースを  
開始しました。同じ4月に  
は、J-COM九州とテレビ  
番組「イノベーション創発」を  
共同制作し、大学生や社会人  
を主なターゲットに放送を開  
始しました。

また、総務省の「地域IC  
Tクラブ普及推進事業」に採  
択され、小中高生を対象とし  
たキッズイノベーション講座  
を開講。子供たちはプログラ  
ミングや最先端ICTテクノ  
ロジー、これらを用いたイノ  
ベーションの創発方法につい  
て学んでいます。

最近では、新型コロナウイ  
ルスの影響を踏まえ、リモ  
トでのアカデミー講座を全国  
向けに開講しました。その結  
果、オムロン、ヤマトグル  
プ、NECグループ会社、浜  
松市役所、早稲田大学マニ  
エスト研究所、ハーバード大  
学の学生、ベルギーのデザイ  
ナーなど国内外140の団体  
・個人に学んでいただくこと  
ができました。

SCB理論の普及に向け、  
研修や講演も重ねてきまし  
た。たとえば、昨年の9月か  
ら12月にかけて、農林水産省  
の職員を対象としたイノベ  
ーション研修をおこなったのを  
はじめ、財務省九州財務局、  
国土交通省、熊本県、熊本  
市、桐生信用金庫などの社員  
・職員向けの研修、講演を実  
施し、出席者からは「理論に  
基づいたイノベーション創発  
の学び」の重要性について大  
きな反響をいただきました。

地域におけるイノベ  
ーションを活性化させていくため  
は、これらの活動を地道に重  
ねていくことが不可欠だと考  
えています。新型コロナによ  
る大きな時代の変化の胎動を  
認識したわれわれは、イノベ  
ーションやこれからの働き方  
に今以上に向き合う必要  
があると思います。

今後これらの活動を通  
じ、地域創生・地域活性化に  
向け、論理的思考と実践力を  
有する人材の育成を進めてい  
きます。今回の連載がみなさま  
の取り組みの一助となれば  
幸いです。